

令和 6年度

事務事業評価表 ( 令和 5年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 6 年 4 月 20 日

事務事業名		地球温暖化対策実行計画推進事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	050802000229
						単独/補助	単独	所属課	030301
政策体系		政策体系上の位置付け						課長名	生活環境課
総合計画の施策名		0508 生活環境の保全						グループ	環境公害対策G
政策名		05 快適な暮らしのまちづくり						担当者名	
施策名		08 生活環境の保全							
手段名		02 ②地球温暖化防止対策							
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	04	01	03	02	00	環境衛生事業		
						単年度繰返し (平成19年度~)		期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
法令根拠		地球温暖化対策の推進に関する法律、桜川市地球温暖化対策実行計画策定委員会設置要綱、桜川市地球温暖化対策推進委員会設置要綱							

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化対策の推進に関する法律に基づいて、地球温暖化対策実行計画を策定し、市の事務事業に関し、温室効果ガスの排出の抑制等のために必要な施策について、総合的かつ効果的に推進する事業である。</li> <li>【事務事業編】 令和3年度実績4,567t-co2を基準とし、環境基本計画により、令和12年度の目標値を3,653t-co2とした。</li> <li>【区域施策編】 平成25年度実績53万t-co2を基準とし、令和12年度の目標値を46%削減の28万3千t-co2とした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>《計画(9年間)の策定に伴う業務》 <ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化対策実行計画案の作成、地球温暖化対策実行計画策定委員会の開催</li> <li>地球温暖化対策実行計画の策定</li> </ul> </li> <li>《計画実行【事務事業編】に伴う業務》 <ul style="list-style-type: none"> <li>調査等による各課からの基礎データの収集</li> <li>地球温暖化対策実行計画推進委員会の開催</li> <li>市の事務事業に関する温室効果ガス総排出量等の公表</li> </ul> </li> <li>《計画実行【区域施策編】に伴う業務》 <ul style="list-style-type: none"> <li>市域の自然的社会的条件に応じたデータの収集</li> <li>地球温暖化対策推進委員会の開催</li> <li>市の区域全体における排出削減対策等の公表</li> </ul> </li> </ul>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
<ul style="list-style-type: none"> <li>地方公共団体実行計画策定に必要なデータ収集</li> <li>各種会議の開催</li> <li>進捗状況報告書の公表</li> </ul>	【事務事業編】温室効果ガスの排出量 (t-CO2)	t-co2	4,596.00	4,443.00	4,290.00	4,137.00	3,984.00
	【区域施策編】温室効果ガスの排出量 (t-CO2)	t-co2	331,000.00	325,000.00	319,000.00	313,000.00	307,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
<ul style="list-style-type: none"> <li>市が管理する施設</li> <li>職員数</li> <li>市域の産業部門、業務その他部門、家庭部門、運輸部門、廃棄物分野</li> </ul>	市が管理する施設	件	88.00	87.00	88.00	88.00	0.00
	職員数	人	387.00	370.00	375.00	375.00	375.00
	人口	人	37,653.00	36,794.00	36,647.00	36,500.00	35,897.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
<ul style="list-style-type: none"> <li>温室効果ガスを抑制する計画のために地方公共団体実行計画の策定を行うとともに、進捗状況を確認するため。</li> </ul>	【事務事業編】基準年度からの削減量	t-co2	0.00	124.00	277.00	430.00	583.00
	【区域施策編】基準年度からの削減量	t-co2	199,000.00	205,000.00	211,000.00	217,000.00	223,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)	期間限定総投入量
事業費	国庫支出金	0	0	0			
	県支出金	0	0	0			
	地方債	0	0	0			
	使用料・手数料	0	0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	0	430	0			
	事業費計(A)	0	430	0			
正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人			

事業費の内訳	05年度事業費 実績 (千円)			06年度事業費 予算 (千円)		
	01 報酬	12 委託料	合計	01 報酬	12 委託料	合計
	78	352				
			430			0

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	06年度の事業内容	07年度の事業内容	08年度の事業内容
	地球温暖化対策実行計画 (事務事業編) の進捗管理を行う。 地球温暖化対策実行計画 (区域施策編) の進捗管理を行う。	地球温暖化対策実行計画 (事務事業編) の進捗管理を行う。 地球温暖化対策実行計画 (区域施策編) の進捗管理を行う。	地球温暖化対策実行計画 (事務事業編) の進捗管理を行う。 地球温暖化対策実行計画 (区域施策編) の進捗管理を行う。

事務事業名	地球温暖化対策実行計画推進事業	事務事業No.	50802000229	所属課	生活環境課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
地球温暖化対策実行計画策定事業により、平成18年度の総排出量を基準年度とし、平成19年に計画、平成20年より実行に移してきたが、平成25年から平成30年までのデータ未収集により比較することができないため、令和3年度を基準年度とし新たに温室効果ガス排出量のデータを収集している。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
特になし					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく事業である。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく事業であり、公共関与は妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 温室効果ガスの総排出量を算出するための基礎データを収集する。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 法的義務であり、世界的な問題である地球温暖化対策の推進に係る事業を廃止することはできない。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業なし。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 推進活動を行っていくなかで、削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 地球温暖化対策は法律上でも国際的な課題であり、市役所全体で取り組むため、公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	令和5年度には、地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を策定し、基準年度である平成25年度の実績値53万3千t-co2を把握した。令和32年度のカーボンニュートラル実現という目標の達成に向けて、中間地点である令和12年度までに基準年度比46%削減を目指していく。																						
②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 区域施策編の進捗状況をまとめるうえでのステークホルダーとの連携体制の構築		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
成果	向上 維持 低下	コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
<input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>